

30 ラグビーフットボール

rugby football

1 主旨

滋賀県民体育大会は、県民の間に広くスポーツを振興して、この普及発展とスポーツ精神の高揚を図り、健康明朗にして活動力豊かな県民の育成に寄与するものであり、明るく正しいスポーツの普及発展を促進し、初期の目的を達成することを期するものであります。

本県ではラグビーに対する興味を引き、楕円球の持つ魅力をより多くの県民の方々に知って頂く機会と位置付け、従来の接触プレーを排除したラグビーの入口とも言うべき「タッチラグビー」に競技スタイルを変え、県民体育大会として今年度より開催いたします。

2019 年にはワールドカップが東京で、また 2024 年には国民体育大会が滋賀で開催予定されております。ラグビーへの関心や理解がラグビー人口の拡大に繋がると信じ、普及に貢献できる大会を目指します。

2 日時

平成28年4月10日（日） AM11:00～（第一試合）／AM9:30 集合

※競技委員と補助役員（各チーム計3名）の集合時間はAM9:30 厳守

※開会式・閉会式は行いません

3 会 場

希望が丘 球技場

※雨天決行。但し、大雨などの時は、希望が丘施設使用規定に基づき、草野球場での開催、又は中止の場合も予想されますのでご了承ください。

4 主 催

滋賀県・滋賀県教育委員会・野洲市・（財）滋賀県体育協会

5 主 管

滋賀県ラグビーフットボール協会

6 部 別

一般の部 タッチフットボール（タッチラグビー）

7 出場チーム

滋賀県ラグビーフットボール協会に登録されたクラブ及び大学、又は滋賀県を所在地とする一般団体の単独・混成チームとする。

参加チームは、1所属で複数チームを構成し参加することも認めるが、選手が複数チームへ重複登録することは認めない。なお、1チームの登録選手は14名以内とする。

8 参加資格

選手は原則として、滋賀県在住の満 18 才以上であること。また、登録選手は（財）スポーツ安全協会スポーツ安全保険（平成 28 年度分）に相当する傷害保険に加入していること。

競技委員 1 名と補助委員 2 名（各参加登録チーム計 3 名）を必ず派遣すること。

大会当日の会場準備及び運営（記録など）補助のお手伝いをさせていただきます。

9 参加費

出場参加希望チームは参加費として¥ 4, 0 0 0 を大会当日に本部にて徴収いたします。

※施設利用料・レフリー交通費などを含みます。

選手交通費やその他経費は各チームで負担してください。

10 参加申込み

所定の参加申込書を 1 部作成し、下記まで送付、又はメールにて申し込んでください。

☆平成 28 年 3 月 19 日（土）必着

送付先／アドレス E-mail/matsuda@honsho.co.jp

問合せ先／松田満 090-3728-5794

11 競技方法

予選は参加チームを 2 ブロックに分け、ブロック毎にリーグ戦を行う。

決勝は各ブロックの同一順位チームの対戦をもって順位を決定する。

但し、参加申し込みチームが少ない場合は、トーナメント方式などに大会形式を変更して行う場合があるので、ご了承ください。なお、その編成については、大会事務局にて決定する。

また、組み合わせについては、参加チームの申込書類到着の順番を元に、大会事務局において抽選を行い決定する。

12 表 彰

決勝トーナメントの 1 位、2 位を表彰する。

13 その他

試合中の傷害については、現場において応急の医療手当てを施すが、それ以後の責任は負わないものとします。

出場選手は、事前に健康診断を受け、当日の参加には健康保健証等を必ず持参すること。

各チームで出したゴミの後始末は各チームで行うこと。

14 大会規則

(1) 大会事務局制定の競技規則によって行う。

(2) 試合開始の 10 分前にメンバー表を大会本部の記録係に提出すること。

(3) 未登録の選手を出場させたチームは試合を没収する。

(4) 試合時間内に勝敗が決まらない場合は、抽選によりトーナメント次回戦の出場を決定。

(5) レフリーは大会本部で指名する。

《服装》

選手のユニフォームは、上着は統一し、短パンを着用。

シューズは、固定式のスパイク・アップシューズのみ使用可とする。

《チームの構成と選手の交代》

(1) 1 チーム 6 人のフィールド内選手とその他 8 人までの交代選手で編成する。

(2) 選手の交代は、随時何回でも出来る。

※但し、選手の交代は自陣のオフサイドライン上からピッチに入り、競技に加わること。

(3) 1 人の選手が複数のチームで試合にでることは禁止する。

《試合時間》

試合時間は、予選リーグは前半 7 分、ハーフタイム 2 分、後半 7 分で行なう。

決勝リーグは、前半 8 分、ハーフタイム 2 分、後半 8 分で行なう。

《競技方法》

(1) 楕円球を使い、前にはパス出来ず、ボールを落としても攻守が交代となります。

(2) 試合開始はグラウンド中央で、攻撃側のタップで開始されます。得点後の再開は、得点しなかったチームが競技場中央でタップにより行われる。ハーフタイム後の再開は、サイド変更後、開始時にタップを行なわなかったチームが、競技場中央でタップして開始する。

(3) 攻撃側はボールを持つ人が、守備側の人に手で触れられる（タッチ）と、足の間から後ろにボールを転がして（ロールボール）攻撃を再開する。

(4) 攻撃側は反則が無い限り 5 回タッチされるまでプレーを続行できます。タッチされた後の攻撃はロールボールで再開する。（攻守交替）

(5) ボールを相手側ゴールライン上または超えた所にグランディングすることで得点となる。

(6) タッチは最小の力で行い、タッチは片手で有効です。タッチ成立は、防御側によるタッチのみ有効とし、ボールを持った攻撃側の防御側への故意のタッチや、接触の場合はタッチは認められません。（タックルや激しいタッチは禁止）

(7) タッチが成立か否かについての判定は、レフリーのホイッスルやコールに準ずる。ノータッチにも関わらず、ロールボールを行った場合は攻守交代となります。

(8) タッチがおこなわれた場合、防御側の全選手は、タッチの位置から直ちに 3m 下がらなければならない。

(9) 防御側がタッチ後、3m 後退せずにタッチをしに行った場合は、ペナルティとなる（オフサイド）

(10) 攻撃側はタッチされた位置を越えてロールボールをすることは出来ない。（アゲイン）

(11) ロールボール後、最初にボールを持った選手（ハーフ）は得点する事ができない。ハーフは一度もパスをしないでタッチされた場合は、ハーフタッチとなり、攻撃権が終了する。

(12) ロールボール開始と同時に、防御側は前へ進んでも良い。従って、ロールアウト前に前進した場合はペナルティとなる。なお、アクティングハーフが不在の場合は、オンサイドのプレーヤーは前進しても良い。

(13) 自陣のインゴールでタッチされた場合は、ゴールラインから 3m の地点で再開される。またインゴールにおいて反則があった場合は、同じく 3m の地点で、相手側のタップによって再開される。

★タップによるプレー開始

(防御側はタップの地点から 5m 後退しなければいけません)

オフサイド／防御側が 5m 下がらずにタッチに行った場合。

ハードタッチ／激しく、強くタッチをした場合。

オブストラクション／防御側が攻撃側のプレーを妨げた場合。

攻撃側が防御側のプレーを妨げた場合。

遅延プレー／意図的にプレーを遅くさせた場合。

7 人以上グラウンドに出ている場合。

その他不正プレー

★ ロールボールによるプレー開始

(防御側はロールボールの地点から 3m 後退しなければいけません)

ノックオンやフォワードパス

ハーフタッチ／ハーフが一度も味方にパスをしないでタッチされた場合。

ハーフがトライをした場合。

ラインタッチ／ボール及びボールを持ったプレーヤーがタッチラインに触れるか

又はタッチラインを超えた場合。

ノットボールコントロール・・・正しくロールボールをされなかった場合。

タップを正確に行わなかった場合。